

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
293610_川 西町	①学校運営上 の課題	社会に開かれ た教育課程へ の対応	過去数年間、協働活動に参画 いただいていた人材の代替も あり、活動が停滞している。 活動に従事される人材及びそ の活動内容の固定化から、広 がりやを欠く状況が続いてい る。学校教育活動の家庭・地 域の理解・共感が希薄化して いる。	・学生から高齢層まで、幅広い世代との協働。 ・新たな地推員等の発掘・養成。 ・地推員等間の連携、及び教職員との協働活動の 共有化を進展させるため、統括的な地推員等を配 置。 ・地推員等と学校の関わりの機会の創出。	地域コーディネーターによる学校への 入り込みにより、令和5年度と比較 し、地域の人材を学校とつなげること ができた。令和7年度は更に、幅広い 世代との協働活動を実施するために学 校の要望を把握し、地域コーディネ ーターを橋渡し役として地域と学校をつ なぐことで、地域主体の活動を創出す る。	地域と学校との持続的かつ深 い関係性の構築。社会に開か れた教育課程の実現。	地域学校協働本部 が主体となる特別 活動・講座・授業 等	0	件	1	1	2 地域コーディネーターの協力の下、地域人材が学校へ入 り込める環境づくりと、実際に学校活動の中で活躍でき る場を提供していただくことができた。主に小学校の授 業において、児童に直接関わる機会の中で、教職員との 連携を深めることもできたが、持続的かつ深い関係を作 るところまでは届かなかったと感じており、裾野を広げ る活動を継続して推進していきたい。	https://www.town.nara-kawanishi.lg.jp/0000007858.html